

社内に対する取り組み

当社は、人権を尊重し、多様性と包容性を重視しています。個々の違いを受け入れ、互いに認め合い、各々が活躍できる職場環境をつくるためには、従業員の意識醸成が必要不可欠だと考えています。

◆人権教育

新入社員に対し、人権の基礎知識、ハラスメント等の職場における人権問題について教育を行っています。

また、従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙は、企業価値向上のための最重要テーマと位置づけ、全従業員を対象としたコンプライアンス教育を実施しています。コンプライアンス意識の維持・向上や自社事例共有のほか、2007年の一連の問題に留まらず、長時間労働やハラスメント・アンガーマネジメントなど、社会情勢を反映させた内容にブラッシュアップしています。

	2022年度実績	2023年度実績
コンプライアンス教育受講率(本庸社員)	99.1%	100.0%

※コンプライアンス体制についてはP46に掲載しています。

◆人権啓発

「不二家 人権ひろば」と題した社内人権イベントを開催しています。展示物・映像視聴・体験等を通じ、身近な例から人権知識を深めるとともに、人権について自分事として考える機会を提供しています。



▲「不二家人権ひろば」の様子

サプライチェーンに対する取り組み

不二家 購買・調達方針

私たち不二家は、常により良い商品・サービスをお客様に提供し続けるために、法令遵守、公正・公平な取引に努め、お取引先様とともに人権・環境等に配慮した調達を推進し、持続可能な社会の実現に寄与します。

- 法令・社会規範遵守**
関係各国の法令や社会規範を遵守し、健全な調達活動を行います。
- 品質・安全性の確保**
お客様からご満足いただける商品の安定供給を達成するため、安全・安心への取り組みを行い、品質の確保に努めた調達活動を行います。
- 人権への配慮**
「不二家グループ 人権方針」を踏まえ、児童労働・強制労働等の人権侵害を排除した調達活動を行います。
- 地球環境への配慮**
「不二家 環境方針」を踏まえ、地球環境に配慮した調達活動を行います。
- 公正・公平な取引**
品質・コスト・納期・技術力等の総合評価に基づき取引先を選定し、公正で自由な競争取引を推進します。
- パートナーシップ強化**
お取引先様に対して、いかなる時も誠実で公平な対応を心がけ、お取引先様と相互に発展することで、持続可能な社会の発展に寄与します。

制定 2023年12月

◆持続可能な調達目的

持続可能な社会の実現に向け、サプライチェーン上で生じる社会課題について、お取引先様と協働し、解決に向けて取り組むことが必要不可欠だと考えています。

特に、調達においては、「不二家 購買・調達方針」に基づき、原材料の生産段階における環境・人権問題への取り組みや、調達段階における安定性の確保などを推進しています。



カカオ豆

チョコレートの原料であるカカオ豆の原産地では、貧困・児童労働等の人権問題や森林破壊といったさまざまな社会課題を抱えています。そのような課題解決に向け、2018年よりカカオ産業のサステナビリティ向上を目指す世界カカオ財団(WCF)に加盟、2021年よりサステナブルカカオ豆(人権・環境等の課題に配慮して生産されたカカオ豆)の調達を推進しています。具体的には、2028年までにガーナ産カカオ豆のサステナブル調達比率を100%とすることを目標に取り組んでいます。

また、サステナブルカカオ豆の購入により、お取引先様を通じて、カカオ栽培農家の支援活動に寄与しています。

	2022年度実績	2023年度実績	2028年度目標
ガーナ産カカオ豆のサステナブル調達	12.1%	24.2%	100.0%



●支援活動の一例

- CLMRS^{*1}、VSLA^{*2}などを活用した児童労働解決に向けた取り組み支援
- 現地農家の生活水準向上支援
- カカオの木を直射日光から守るシェードツリー(日陰樹)の植林支援

^{*1} CLMRS (Child Labor Monitoring and Remediation System: 児童労働監視改善システム) カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のICIが開発したシステムで、各農家に対するモニタリングとモニタリングに基づいた対策・立案・実行のサイクルで児童労働を防止する手法。

^{*2} VSLA (Village Savings and Loan Association) 農家コミュニティ内での自主的な資金管理を支援し、児童労働の根本的要因の一つである貧困を改善する手法。



パーム油

お菓子やケーキに使用される油の1つであるパーム油の原産地では、急速なアブラヤシ農園の拡大による森林伐採や生物多様性の損失、不適切な農園経営による人権問題等、さまざまな社会課題を抱えています。当社では、持続可能なパーム油の調達を目指し、RSPO^{*3}に加盟しています。

^{*3} RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil / 持続可能なパーム油のための円卓会議)

世界自然保護基金(WWF)を含む関係団体を中心となり、2004年に設立された。世界的信頼される認証基準の策定とステークホルダーの参加を通じ、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としている。

◆お取引先様との協働

サプライチェーンにおけるさまざまな課題の解決や、「不二家 購買・調達方針」に則った調達活動の推進には、お取引先様との協働が不可欠だと考えています。新たな原料・サプライヤーを採用する際には、審査(右図)を行い、採用の可否を決定しています。

新規原料・サプライヤーを検討する際には、使用に適した原材料か、お取引先様はどのような会社かを見極めるために、まずは情報を収集し、書類審査を行います。

次に、「現場・現物・現実」の三現主義に基づき、実際に現地や工場に足を運び、現物や生産環境等に問題がないかを確認します。問題がある際は、必要に応じて改善・指導を行い、採用の可否を決定しています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、調達分野においてどのように貢献できるかを検討し、お取引先様と協働しながら課題解決に努めます。

●取引先選定フロー

